

# 明日を担う若手職員を紹介します！

No.11 県庁県土整備企画室 技師 鶴巻武人さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事情況や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第11回は、**県庁県土整備企画室の鶴巻技師**です。

## Q1 担当している仕事を教えてください

平成13年度入庁

久慈地方振興局土木部（現 県北広域振興局土木部）で河川砂防事業の設計監督業務、県庁道路建設課で主に道路整備事業の予算管理などを担当してきました。

（現在）県土整備企画室（予算担当）3年目

部の予算編成等に関する取りまとめや、国庫補助金に関する事務等を担当しています。



## Q2 仕事の面白いところはありますか？

現在の仕事は現場を直接担当する場所ではありませんが、工事等を施工するために必要な予算の編成や仕組みなどを学ぶことができ、技術職員として非常に貴重な経験となっています。

また、市町村事業に関する業務もあり、市町村職員の方々との打合せや、市町村のさまざまな現場を知ることができて、とても勉強になります。

## Q3 仕事の難しいところはありますか？

事業に必要な予算を考えるだけでなく、その事業費を構成する財源にも配慮する必要があり、必要な事業の予算をどう編成するか調整するところが難しいです。

## Q4 どんな職場ですか？

県土整備企画室には27名の職員がおり、用地、管理、経理、予算、企画と部内各分野の総括的な業務を担当しています。

その中で、所属する予算担当は5名で、決算や予算編成などを行う一年中忙しい場所ですが、平均年齢約40歳の働き盛りの体に鞭打って、みんなで頑張っています。

## Q5 最後に一言（今後の抱負など）！

県財政が厳しい状況においても、公共事業に対する要望は多く、その必要性や重要性は高いので、これまでに培った知識や経験を活かしてこれからも一生懸命頑張りたいと思います。



県土整備部では、花巻広域公園の利用促進や職員の懇親等のため、「花巻広域公園利用促進支援ゴルフ大会 岩手県県土整備部長杯」を開催しています。心身をリフレッシュして仕事も頑張ります！！